

千葉市下水道事業中長期経営計画(改定版)(案)(2021(令和3)年度～2032(令和14)年度)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	分野	区分	意見の概要	意見に対する考え方	計画案への反映
1	7	1 はじめに	1-3 計画期間	“当初想定していた令和14年度までの適正な収支推計は困難であると判断しました”の文章の中で、令和14年度の1が赤フォントになっています。	ホームページ上で公開している物をパソコン上などで表示すると、表示倍率によりご指摘の箇所が赤フォントのように見える現象があるようです。意図的に赤フォントにしていることはありません。	—
2	9	2 千葉市の下水道	2-1 事業の概要	普及状況において、“汚水整備は概成に至っています”と記載されています。 “概成”とは、“ほぼ完成に近づくこと”の意味ですが、平易な記述を望みます。 “汚水整備はほぼ完成に近づいています”が素人にも分かりやすい表現です。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 その結果、2023(令和5)年3月末現在の処理区域内人口は952,325人、下水道処理人口普及率は97.5%、処理区域面積は12,299ha(処理区域内人口密度77.4人/ha)と、汚水整備は概ね完成しています。	○
3	10	2 千葉市の下水道	2-1 事業の概要	事業の沿革において、年間総処理水量の推移の棒グラフが掲載されています。しかし、本文においてはこのグラフの説明がありません。R2年がピーク値を示し、その後減少に転じている理由などの説明をしていただけるとありがたい。	ご意見を踏まえ、次のとおり文章を追加します。 ・・・窒素・リン除去率向上のため、高度処理施設の運転を開始しています。 <u>総処理水量は年度ごとの雨水量など様々な要因により変動があり、令和2年度は、新型コロナウイルスの発生以降、在宅勤務やステイホームなど生活様式の変化等により一般家庭の水量が増えたが、令和3年度以降は、事業者の事業活動の縮小傾向が継続したことや、行動規制の緩和等に伴う一般家庭の水量減少の影響により有収水量が減少した結果、総処理水量が減少しています。</u>	○
4,5	15	3 現状と課題	3-1 建設投資の適正化	生活環境の改善の、これからの課題において、“汚水整備”という言葉が使われていますが、“汚水処理施設の整備”とした方が計画書に使う言葉として適切のような気がします。また、“現状宅地などについては引き続き、整備の有効性や順序を考慮し”と記載されていますが、宅地に対して、整備の順序はわかるとしても、整備の有効性とはどういう意味で使われているのでしょうか？	「汚水処理施設」は、「公共下水道事業」「農業集落排水事業」「合併処理浄化槽設置整備事業」の3事業を説明しているため、「汚水処理施設の整備」の場合は3事業の整備となってしまふことから、ご意見を踏まえ、「汚水整備」を次のとおり修正します。 これまで、 <u>公共下水道事業において汚水管きよ等の整備</u> を進めてきましたが、未整備箇所もあります。 また、整備の有効性とは、「効率的・効果的」という意味で使っており、整備順序は有効性を考えながら決めているため、「有効性」を削除し、次のとおり修正します。 ・・・現状宅地などについては引き続き、 <u>整備順序</u> を考慮し事業を進めていく必要があります。	○
6,7	16	3 現状と課題	3-1 建設投資の適正化	浸水の防除の、これまでの取組みにおいて、“1時間あたり53.4mmの降雨に対する・・・”と記載されています。先ず、1時間の1が赤フォントとなっています。次に、いきなり53.4mmと何の指標か不明な数字が出てきます。“計画降雨(10年確率)による”とかの説明が必要と思います。	一つ目について ホームページ上で公開している物をパソコン上などで表示すると、表示倍率によりご指摘の箇所が赤フォントのように見える現象があるようです。意図的に赤フォントにしていることはありません。 二つ目について ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 市民の安全・安心なまちづくりに向け、 <u>計画降雨(10年確率)である</u> 1時間あたり53.4mmに <u>対応した</u> 雨水施設(38箇所)及び雨水浸透施設の整備を実施したほか、防水板設置費用の一部助成を行い、浸水被害の軽減に努めてきました。	○

千葉市下水道事業中長期経営計画(改定版)(案)(2021(令和3)年度～2032(令和14)年度)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	分野	区分	意見の概要	意見に対する考え方	計画案への反映
8	23	3 現状と課題	3-1 建設投資の適正化	管きよの耐震化の、これからの課題において、最後の段落の“しかし、重要な幹線等の耐震化は、流量が多い・・・”と記載されていますが、これは、この前の段落の最後にあるマンホールトイレに対しても関係するのでしょうか？もし関係しないとすれば、最後の段落の文章は、“今後も耐震化を進めていく必要があります。”の次に記載した方が誤解を生じないと思います。	最後の段落の「しかし」以降は、前の段落の「マンホールトイレ」に関係しないので、ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 ・・・今後も耐震化を進めていく必要がありますが、 <u>重要な幹線等の耐震化は、流量が多いことによる施工困難箇所などがあり、施工方法などの検討もあわせて進めていかなければなりません。</u> <u>また、マンホールトイレについては、2016(平成28)年熊本地震において、その有効性が実証されており、未整備箇所への整備を進める必要があります。</u>	○
9	24	3 現状と課題	3-1 建設投資の適正化	処理場・ポンプ場の耐震化のこれからの課題において、“土木構造物。基礎杭は、物理的に耐震化が困難なものもあるため”と記載されています。この中で、“土木構造物、基礎杭”は“地中構造物”とした方が適切だと思います。土木構造物とは何を指しているのか不明ですが、土木構造物のすべてに耐震化が難しいと解釈されてしまいます。	土木構造物は、地下部のコンクリート躯体等を指しているため、ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 これまでも、処理場・ポンプ場の耐震化を進めてきましたが、土木構造物 <u>(地下部のコンクリート躯体等)</u> 、基礎杭は、物理的に耐震化が困難なものもあるため、今後は施設の再構築とあわせて耐震化を進めるほか、・・・	○
10	27	3 現状と課題	3-2 財政運営と人材育成	下水道の経費に対する財源の考え方において、“で賄われる、「雨水公費・污水私費の原則」が・・・”と記載されています。最初の“で賄われる、”を省略しても十分文章として成立します。	ご意見を踏まえ、「賄われる」を削除します。	○
11	41	4 経営理念・基本方針	4-1 経営理念	経営理念は、“污水の処理による衛生的な生活環境を維持するとともに、安全・安心なまちづくりに貢献するため、下水道・・・”となっていますが、“污水の処理による衛生的な生活環境を維持することにより、安全・安心なまちづくりに貢献し、下水道・・・”が良いと思います。	ご意見のとおり、污水の処理による衛生的な生活環境を維持することは、安全・安心なまちづくりに貢献しますが、下水道のもうひとつの役割である雨水排除についても安全・安心なまちづくりに貢献しております。そのため、原案のままとします。	—
12	42	4 経営理念・基本方針	4-2 基本方針	基本方針Ⅲの文字フォント色と背景の色の調和が良くなく、文字が見えにくい。文字と背景の色は補色関係がよいと思います。	ご意見の箇所について、フォント色を変更しました。	○
13	47	5 主要施策	施策Ⅰ-1	重点地区の整備において、“選択と集中の観点から”と記載されています。インフラ整備、特に災害に直結するインフラ整備に対して、“選択と集中”という文言は不適切なような気がします。“選択と集中”という言葉を外しても文章は成り立っていると思います。	「選択と集中」は、リスクが高いところを優先的に整備するという意味合いで使用しています。そのため、原案のままとします。	—
14	47	5 主要施策	施策Ⅰ-1	P.47の左下に“リスクマトリクス表”と記載されています。一般的には“リスクマトリクス図”あるいは“リスクマトリクス”が適切だと思います。マトリクスは行列です。	ご意見を踏まえ、 「リスクマトリクス表」を「 <u>リスクマトリクス</u> 」に修正します。	○

千葉市下水道事業中長期経営計画(改定版)(案)(2021(令和3)年度～2032(令和14)年度)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	分野	区分	意見の概要	意見に対する考え方	計画案への反映
15	49	5 主要施策	施策Ⅰ-1	雨水整備イメージにおいて、既設管が損傷した場合、バイパス管、増補管、貯留管等で対処する考えを示していると思いますが、文字が見えにくい図となっています。右隣にある吹き出しで説明した方が良いと思います。	ご意見を踏まえ、「雨水整備イメージ」の吹き出しの説明を次のとおり修正します。 <u>地域の状況に応じて、バイパス管、増補管、貯留管等の整備を行っていきます。</u>	○
16	54	5 主要施策	施策Ⅰ-2	【主な取組み】重要な幹線等の耐震化において、“重要な幹線等845kmのうち、令和4年度末に695kmを耐震化 耐震化延長約85km”と記載されています。耐震化延長約85kmの意味を説明してください。	耐震化延長約85kmは、令和5年度から令和14年度までに耐震化を予定している延長を説明しているため、ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 <u>令和14年度までに耐震化を予定している延長約85km</u>	○
17,18	54	5 主要施策	施策Ⅰ-2	重要な幹線等の耐震化において、“兵庫県南部地震の被害を踏まえ耐震基準が強化されましたが、1997(平成9)年度以前に施工された下水道施設の耐震化は十分進んでいません”の兵庫県南部地震には“1995(平成7)年1月”を加えた方が分かりやすいと思います。次に、“そのため、本市では、重要な幹線等の耐震化を進めています”は、“そのため、本市では、重要な幹線等を優先して耐震化を進めています”が分かりやすい表現と思います。	一つ目については、ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 兵庫県南部地震 <u>(1995(平成7)年1月)</u> の被害を踏まえ・・・ 二つ目については、次のとおりとします。 耐震化の対象としている管渠は、「被災することで、災害復旧活動に影響を与えることが想定される下水道管(緊急輸送路下など)」を重要な幹線等と位置付けて耐震化を進めているため、原案のままとします。	○
19	56	5 主要施策	施策Ⅰ-2	プール水のある学校にマンホールトイレを設置する計画は理にかなった施策だと思います。民間マンションにおいても井戸水やプール水相当の水を保有している場合、マンホールトイレ設置助成金の検討をお願いしたい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—
20	62	5 主要施策	施策Ⅰ-3	P.47と同じですが、表の改築シナリオに用いるマトリクス表は、単にマトリクスでよいと思います。	ご意見を踏まえ、 「改築シナリオに用いるマトリクス表」を <u>「改築シナリオに用いるマトリクス」</u> に修正します。	○
21	67	5 主要施策	施策Ⅰ-5	未整備地区の整備の図において、枝分かれの最後の図の“=”の右側の背景色が濃くて文字が読めません。	ご意見の箇所について、背景色を変更しました。	○
22	71	5 主要施策	施策Ⅱ-1	流入水・放流水の水質管理において、“本市では、処理場の運転管理に包括的民間委託を導入しています。受注者において、法定基準を上回る水質基準を設定させ、適正な運転管理に努めています”と記載されています。民間の委託会社が自主的に法定基準を上回る水質基準で運転管理するのは適切な管理手法かもしれませんが、市がそれを強要するのは問題です。法定基準とは何か?となってしまいます。文章を改めた方が良くと思います。	包括的民間委託による運転管理においても、法定基準を違反した場合は、下水道管理者である本市が法的責任を負うこととなります。このことから、運転実績を考慮した要求水準を定め、法定基準を遵守できる水質の確保に努めています。そのため、ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 本市では、 <u>安定して良好な水質を確保するため、処理場の維持管理に包括的民間委託を導入し、水質の要求水準を定めるなど</u> 適正な運転管理に努めています。	○

千葉市下水道事業中長期経営計画(改定版)(案)(2021(令和3)年度～2032(令和14)年度)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	分野	区分	意見の概要	意見に対する考え方	計画案への反映
23	73	5 主要施策	施策Ⅱ-2	高度処理施設の増設(再構築)において、“また、浄化センター内の土木構造物が供用開始から50年以上・・・”と記載されています。この中で、“土木構造物”とは何を指すのでしょうか?P.74の具体的取組には“土木構造物”という言葉はありません。下水道処理施設に従事されている職員の方には明確な用語も一般人にはピンとこない場合があります。	土木構造物は、水処理施設(コンクリート躯体)を指しているため、ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 また、浄化センター内の水処理施設(コンクリート躯体)が供用開始から50年以上経過しているため、施設の再構築にあわせて高度処理施設を整備します。	○
24	77	5 主要施策	施策Ⅱ-4	“DBO方式”の説明を加えてください。Design-Build-Operateのことだと思います。用語解説には、DB(Design-Build)方式がありますが、DBO方式はありません。用語解説に掲載されている用語は、本文においてマークを付けていただくと分かりやすいと思います。例えば、*を右肩に付ける“DB*”でもよいと思います。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 <u>DBO*方式</u> による官民連携を推進する また、ページ下段に <u>※DBO (Design Build Operate)</u> を追記します。 用語解説には、 <u>DBO方式</u> <u>公共が資金調達を行い、民間事業者が施設の設計・建設の一括発注と、維持管理・運営等の一括発注を包括して発注する方式 (Design Build Operate、DBO方式)</u> を追記します。 なお、用語解説に掲載されている用語は、本文に掲載される用語の右肩に「*」を付けます。	○
25,26	79	5 主要施策	施策Ⅱ-5	“草野雨水1号幹線”と名付けられた写真が掲載されています。この写真は草野水路と呼ばれる水路だと思いますが、本文には説明がありません。また、草野水路が自然と調和しているかどうかは疑問符が付きます。	ご意見を踏まえ、写真下部に記載している草野雨水1号幹線を <u>草野水のみち</u> に修正します。 また、ご意見のとおり、写真に対する本文の説明文がありませんので、次のとおり修正します。 ・・・下水道施設の景観づくりに努めています。 <u>また、春には草野水のみちなどの沿線にて、桜の開花を楽しむことができます。</u> なお、上記のことにより、草野水のみちは自然と調和していると考えています。	○
27	89	5 主要施策	施策Ⅲ-3	Topicsにおいて、“整備事業が完了したことで、農業用排水の水質保全、・・・”と記載されています。“農業用排水”は適切ですか?	「農業用排水」は、千葉市農業集落排水処理施設条例の第1条に 「農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)第6条第1項の規定に基づき農業振興地域として指定された地域について、農業集落排水処理施設の整備を図り、もって農業集落における農業用排水の水質保全及び生活環境の改善に資することを目的とする。」とあるため、原案のままとします。	—
28	91	5 主要施策	施策Ⅲ-5	「おいしい水ときれいな水を私たちの未来に残そう 明るい暮らしを創造する一助として」(前文略) 3 私たちにできること 私たちは上下水道の管理についてその一部分を概観してきたのであるが、水の大循環に鑑みて水の水質について思いを巡らせてみるとおいしい水を確保するということが下水道をきれいにすることとが別々の営みであるように見えながら、実はおいしくてかつきれいな水を確保するという一点において同じような営みの中の相互作用によって成り立っているということに気づかれたことだろうと思う。 水道の安全はタダで手に入ると長い間信じ込んできたのであるが、そろそろ水の水質についてもひとりひとりの工夫と責任によって少しでも美しい山河を取り返したいものだと思う。	ご意見については、利用者への下水道事業への理解を深めていただくための広報活動などの参考とさせていただきます。	—